

第四回古町花街展『文人のみた花街、文学のなかの芸妓』

令和6年9月3日(火)～10月27日(日)

開館時間:9時30分～18時(10月は9時30分～17時)

第四回古町花街展『文人のみた花街、文学のなかの芸妓』

取材・広報協力をお願い

平素より新潟市の文化振興に対し格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、旧齋藤家別邸にて、企画展「第四回古町花街展『文人のみた花街、文学のなかの芸妓』」を開催いたします。
下記の実施要項にて記事・番組等でとりあげていただきたくお知らせさせていただきました。取材等のお問い合わせについては、事前に下記までご連絡いただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

【実施要項】

名称	展覧会 第四回古町花街展『文人のみた花街、文学のなかの芸妓』
主催	新潟市旧齋藤家別邸
期日	令和6年9月3日(火)～10月27日(日) ※月曜日は休館 開館時間:9時30分～18時(10月は9時30分～17時)
会場	旧齋藤家別邸・土蔵
展示内容	今回、第四回を迎える展覧会「古町花街展」では、「文人のみた花街、文学のなかの芸妓」をテーマに開催いたします。 芸妓の町・古町花街は、その源流を江戸時代にもち、明治後期に新潟遊廓が市街地外縁に形成されたことで、「芸妓の町」として現在の地に成立しました。古町花街には、様々な文人墨客や著名人が訪れ、その思い出は文学や随想に度々残されてきました。 本企画展では、かつての古町花街・古町芸妓を描いた尾崎紅葉や芥川龍之介等の随筆、宮田重雄や近藤日出造等の画家・漫画家による古町芸妓・力弥さんの似顔絵等の色紙、その他歴史を物語る史料等を展示します。往時の古町花街のおもかげに触れて頂ければ幸いです。また、明治時代から昭和初期の花街全盛の時代、新潟県内に存在した他の花街の盛衰についても合わせて紹介します。
問い合わせ	新潟市 旧齋藤家別邸 【住所】〒951-8104 新潟市中央区西大畑町 576 番地 【電話】025-210-8350 【FAX】025-210-8360 【ホームページ】 http://saitouke.jp 【メール】 post@saitouke.jp

第四回 古町花街展

令和6年

9/3(火)

▶ 10/27(日)

文人のみた花街
文学のなかの芸妓

会場：旧齋藤家別邸(新潟市中央区西大畑町576)

観覧料：一般300円 小中100円

開館時間：<9月>午前9時30分～午後6時

<10月>午前9時30分～午後5時

[休館日：月曜日、祝・休日の翌日]

お問合せ：025-210-8350

主催：旧齋藤家別邸

協力：新潟三業協同組合(新潟市料理業組合・新潟芸妓置屋組合)、柳都振興株式会社
新潟ハイカラ文庫、古町花街の会

関連イベントについては裏面を参照

第四回 古町花街展

文人のみた花街 文学の中の芸妓

古町花街には江戸時代から現在まで、実に多くの高名な小説家や画家、芸能者等が訪れています。そのため、古町花街での芸妓や女将との交流、料亭の料理への感想、街や建物の情緒等について、様々な形で現在に語り継がれています。この度、古町花街と古今に亘り縁のある旧齋藤家別邸を会場として、文人墨客の古町花街での思い出や文学・随想に現れた古町花街・古町芸妓を紹介する企画展を開催します。かつての古町花街を描いた文学・随想の古書、当時の古写真やポスター、古町の歴史を語る史料等を合わせて展示し、往時の古町花街のおもかげに触れて頂きます。

また、花街の成立から興隆期までの時代、新潟県内に花街がどれほど存在し、それらがどのような推移を辿ったのか、当時の資料とともに紹介します。



古町芸妓が描かれた似顔絵色紙や絵はがき(昭和初期～中期)

〈花街深掘り講座〉

① 花街と文人の交流

古町花街には多くの文人墨客が訪れ、数々の随筆に様々な思い出が記されてきました。本講座では、随筆等から文人と花街・芸妓との交流の記憶を紹介します。

② 花街と文学

花街と芸妓は、様々な小説の舞台背景や登場人物として表現されてきました。本講座では、古町をはじめ各地の花街・芸妓が小説の中でどのように描かれてきたかを紹介합니다。

日 時：① 9月28日(土) 10:30～12:00

② 10月26日(土) 10:30～12:00

会 場：旧齋藤家別邸

定 員：各回20名

参加費：各回500円(観覧料別)

講 師：久保有朋(旧齋藤家別邸 学芸員)

古町花街の会 事務局長)

お申込：025-210-8350(旧齋藤家別邸)

申込み開始日：9月4日(水)

〈古町花街〉

花街は、日本舞踊や純邦楽、茶道、書画骨董、日本庭園、数寄屋建築等の有形無形の様々な日本文化を包括的に継承する稀有な場であり、「最後の純和風空間」とも評されます。古町花街は全国でも比較的規模の大きい現役の花街であり、歴史的町並みが残る伝統的料亭街としては全国随一です。

〈お座敷入門講座〉

料亭に芸妓を呼び「お座敷(宴席)」を開くことは、一般には縁遠いものと思われがちです。しかし、実はその開催方法や楽しみ方は多様であり、様々な人が楽しむことのできる懐の深い世界です。

本講座では、お座敷の様々な魅力や楽しみ方、基本的なマナー、予約の仕方などをご紹介します。

日 時：① 9月14日(土) 10:30～12:00

② 10月20日(日) 10:30～12:00

会 場：旧齋藤家別邸

定 員：各回20名

参加費：各回500円(観覧料別)

講 師：久保有朋(同左)

お申込：025-210-8350(旧齋藤家別邸)

※お座敷入門講座の内容は各回同じです

申込み開始日：9月4日(水)



高浜虚子ら俳人による句会(昭和30年、料亭「かき正にて」)